

# 平成29年度 道川分教室公開授業研究会

9月13日(木)、道川分教室の公開授業研究会を開催しました。午前があきた病院内で「朝の活動・朝の会」の提示授業を行いました。午後は岩城会館に移動して、研究協議会と秋田大学教育文化学部准教授高田屋陽子氏による講演を行いました。

研究協議では熱心な話し合いが行われ、たくさんの御意見をいただくことができ、有意義な研究会となりました。御参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

## 提示授業①南グループ(高等部2・3年) 自立活動「朝の活動・朝の会」

楽しい雰囲気づくり、授業展開と教材・教具の工夫により生徒の期待感と意欲が高まり自発的な発信がたくさん見られました。一人一人の得意なことを生かした係活動を行ったり、歌や詩を取り入れ「季節」を感じられるようにしたりと、活発な活動が行われ、生徒は友達を意識しながら、集中して参加していました。



## 授業提示②北1グループ(中学部3年・高等部2年) 自立活動「朝の会・朝の活動」～ビデオ参観

グループの生徒が2名とも欠席したため、事前に録画したビデオでの参観となりました。音に集中できる環境作りを心掛け、言葉掛けや教材・教具の精選を行いました。繰り返し活動することで生徒が微細ながら自分から表出している様子について説明を加えながらビデオを見てもらい、理解を深めることができました。



## 研究協議会

協議題「人と関わりを広げる授業づくりについて」

前半は、2つのグループに分かれてワークショップ型の協議を行い、活発な意見交換が行われました。後半は、グループ協議の発表を受けて全体協議を行いました。

### 【協議会より(一部抜粋)】

<提示授業①について>

- 生徒が興味・関心をもち意欲的に活動していた。安定感を大切にしつつ次への展開に挑戦していく。
- 生徒はもっと表出できる、したがっている。題材の分析、生徒の活動や教師の役割の更なる工夫を。

<提示授業②について>

- 生徒の表出をパワーアップさせるための手立て、教師からの働き掛けの工夫を。
- 担任にしか分からない生徒の表出を周囲の人達にも気付いてもらえるようにするための工夫を。



## 講演

講師の高田屋准教授より、「障害の重い児童生徒の指導内容・指導方法の工夫～自立活動の取組から～」という講演題でお話をいただきました。その中で、授業の構成を考える上で授業者としての視点と子どもからの視点をもち合わせることや自立活動をとおして、どういうことを感じてほしいのか、何を学んでほしいのか、何を育てたいのか、を念頭に置きしっかり題材の分析をすることが大事である、というお話をいただきました。これからの指導に生かしていきたい内容であり、大変有意義な講話となりました。